

東京聖栄大学 後援会会報

編集発行
東京聖栄大学
後援会

会長挨拶

後援会会長 柳瀬 仁



ようやく春めいてまいりました。今日この頃、後援会の皆様にはますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

この度、卒業されます管理栄養学科と食品学科の皆様、誠にめでとうございます。

卒業されるご子息、ご息女の皆様を温かく支えてくださったご家族の皆様のお慶びはいか程かと拝察申し上げます。

今年卒業される皆様は東京聖栄大学の第四回目の卒業生とされます。この四年間学んでこられた「食」についての知識を就職先を通して世の中の多くの方々へ貢献していただくという使命を担って巣立っていかれる

と思っております。昨年の三月十一日に起きた東日本大震災による、大きな災害とともに、原子力発電所の放射能の問題が発生し食に対する安全に対し大きな注目が注がれております。また一方「タニタの社員食堂」への注目など食を取り巻く環境は大きく変化しており、今ほど注目されている時もないのではないかと思われまます。

卒業生の皆様は就職氷河期といわれる厳しい状況と食への関心が大きく取り上げられている中、社会へ巣立って行かれる訳です。

このような厳しい状況の中、贈る言葉として、中国の陽明学の言葉に「事上磨錬」という言葉があります。陽明学は実践を重視している学問ですが良い教えは沢山あります。これから就職される皆様にはこの言葉が良

いと思ひ紹介させていただきます。ことばの意味は、広義にとらえると仕事を通して自分を磨いていくと理解していただければと思います。仕事はどんなつまらない事でも誰かがしなければならぬ事が沢山あります。期待に胸を膨らませ就職したのに単純な仕事やだれでも出来ると思われ仕事させられて面白くない事や、意地悪な先輩に悩んだりすることもあるかと思ひます。そんな時に全てが勉強と前向きに捉え、仕事や人間関係に向き合って誠心誠意努力して欲しいと思ひます。必ず結果が付いてくると信じています。

最後に本大学の教職員ならびに関係者の皆様には熱心なご指導、ご鞭撻を受け賜わり深く感謝申し上げます。

これからも本大学と卒業生の皆様、後援会の皆様方の益々のご発展を心からご祈念し挨拶とさせていただきます。

平成二十三年度保護者会報告

保護者会(後援会・大学共催)が、昨年十月一日(土)、六十八名の保護者の方の参加があり、本学内で開催された。

当日は、十三時より全体会と



保護者会

して一号館四階の講堂を会場として柳瀬仁後援会会長松本信二

健康栄養学部長の挨拶の後「各学科の現状と課題(報告)」について、阿左美章治管理栄養学科長、丸井正樹食品学科長より報告が行なわれた。

その後、学科・学年別懇談会が行われ、学年担任を中心に懇談形式と、個別懇談形式を併用して実施され有意義な時間が持たれた。

保護者会に参加して

1 NA 石黒 美乃

高校三年生の時にオープンキャンパスに参加して「私、この学校に行きたい。」と言っていた娘。念願叶った娘の学生生活を知る良い機会だと思ひ、参加させて頂きました。

全体会では現在の学生の現状や国家試験の合格率・就職状況などの報告が行われ、その後、会場を各教室に移して学科別・学年別懇談会が行われました。

始めは先生方の話しを聞く形でしたが、保護者同士の自己紹介を済ませてからは質問や意見交換等が活発になり、とても勉強になりました。又、個別に相談出来るコーナーもあったので、こちらを利用する方も多くいました。大変有意義な時間を過ごす事が出来ました。

認証評価受審について

本学は、財団法人日本高等教育評価機構の大学機関別認証評価を本年度受審した。

認証評価とは、大学の教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに文部科学大臣から認証を受けた評価機関による評価基準に基づく評価を受ける制度である。

各大学は、自ら定める評価の基準に基づき自学を定期的に評価(自己点検活動)すると同時に、評価機関の評価結果も踏まえ、改善を図ることを促す。

本学においては、平成十九年度自己点検及び本年度の受審経過を踏まえた今後の改善への取り組みによって教育研究の質の保証が担保されることとなる。

管理栄養学科

全教職員を挙げて

指導とサポート

管理栄養学科長 阿左美章治



国家試験体験講話

卒業や年度末をひかえたこの時期、学内は、直前講習会や国試合格を目指す四年次生の熱気と学年仕上げの定期試験に臨む学生たちの緊張感で満ちている。特に四年次生は、図書館や自習室を利用し、自分達の「決意表明入り、試験まであと〇〇日のポスター」を励みに遅くまで頑張っている。三年次生は十月に臨地実習の一回目の報告会を行い、これを糧に次の臨地実習に備えている。この臨地実習は、これから本格化する就職活動や国試に取り組む心構えの醸成に大変重要な情報をもたらすものであり、二年次生の報告会への出席も義務付けている。また、三年次生は十二月に栄養士

次から四年次にかけての国試対策必修教科「特論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」が新たにスタートすることとあわせ実力の向上を図っている。管理栄養士養成を目指す管理栄養学科のカリキュラムは専門性が強くタイトな編成になっている。ゆとり教育世代の学生達にとって一・二年次の専門教科目は、特に難解に映ることから受講に際しては目的意識をしっかりと持つ必要がある。平成二十四年度の一年次生からは「管理栄養士概論」を設定し、導入教育を充実させることとしている。また大学生生活仕上の四年次にはゼミナールⅠ・Ⅱの研究室配属に学生の希望を取り入れ、学生と教員の近い関係でのコミュニケーションの充実を図っていく。

新年度も管理栄養学科では全教員を挙げて、学生各自の教育、国試合格および就職に向け更なる指導とサポートを続けていく。

食品学科

求められる

更なる改善努力

食品学科長 丸井 正樹

一年次生の定員充足に加え



卒業論文発表会

て、来年度の新生生の今年度同様に定員を充たす見込みである。これによる学

生数の増加はうれしいことではあるが、新たな課題と直面することになる。なかでも、学生指導が希薄化する懸念がもつとも重大であろう。学年担任個人では学生の要望に応えきれないの、学科としてサポートするという認識とその体制が要求されるであろう。

就職支援にも大きな努力が求められる。学生数に見合った多くの就職口が必要になるが、その確保に力を発揮するのは卒業生である。いい卒業生は後輩の活路を開く。ここでもいい教育への努力が求められる。いいキャンパス環境、魅力的な授業、親しい友人、暖かい家庭、これらに包まれて学んだ学生は会社、否、社会に歓迎されるであらう。

会報第五十号で報告した認定資格の食品衛生微生物検査技士の技術講習認定校に昨年十二月に正式に登録された。これによ

学生支援センター

就職イベント

「業界・企業説明会」の開催
三十一社の人事担当者来校

り、本資格を目指す学生の経済的負担が軽くなる。取得が難しい資格であるが、実務に活かせるゆえに、学生たちに果敢に挑戦して欲しい。

二月十四日・十五日・十七日の三日間、三年次生を主対象とした「業界・企業説明会」が開催された。今年は、過去最多の延べ三十一社の人事担当が来校された。本学学生の主要就職先となる給食会社・食品会社・ホテル・飲食関係企業等の人事担当者からは、各企業の説明と求める人材像等が話された。三日間とも、午前は全体説明会、昼食時には、企業人事担当者とは本学就職関係教職員との意見交換会、午後には各企業別の個別説明会が行なわれ、真剣な質疑応答が交わされた。



企業説明会

た。

学生会活動報告

● 聖栄葛飾祭(大学祭)

昨年十一月五日(土)・六日(日)に「聖栄葛飾祭」が開催された。今回は「Health&Beauty」食事から美しく!食事から健康に!」のテーマで、葛飾区の後援、農林水産省関東農政局東

京地域センターの協賛を受けた。栄養や食品に関する企画を充実させ、(社)全国栄養士養成施設協会後援「短時間で自分の生活の改善策がわかるって、本当!」や(社)日本フードスペシャリスト協会共催「大学生が考えた新しい加工食品展(卒業制作展)」などの企画を実施した。

また、今回は東日本大震災で被災した東北地方を応援するために、義援金箱の設置や福島県塙町物産展、宮城県仙台市出身のサンドウィッチマンを招いたお笑いライブを実施した。



サンデークッキング



模擬店

平成23年度 東京聖栄大学フォトグラフィ



入学式
(H23.4.2)



学友会総会
(H23.4.13)



奨学金授与式
(H23.5.26)



地域共創活動 (わんぱく相撲)
(H23.5.15)



体育祭
(H23.6.3)



学生との意見交換会
(H23.6.9)



農林水産省特別講演会
(H23.6.15)



『建学の精神』プレート



1年次生マナー講座
(H23.6.24)



食品関係企業説明会
(H23.7.19)



就職活動対策講座
(H23.9.27)



防災訓練
(H23.10.19)



聖栄葛飾祭
(H23.11.5 ~ 11.6)



就職活動のためのディスカッション講座
(H23.11.24)



普通救命講習
(H23.12.14)

副会長挨拶

後援会副会長 高木 善繁



早春の頃、後援会の皆様におかれましては益々のご健勝のことと存じます。

まもなく卒業式を迎え卒業生に向けて新入社員や職員としてのアドバイスを述べたいと思います。

新しい職場で色々な指示を頂いて仕事を進める事になります。その際、その作業の目的とするのは何か？を知って実施するのと、言われたことを何も考えずにそのまま実施するのでは結果に違いが出てきます。目的を知っている場合には、創意工夫が可能ですが、知らない場合には言われた事をそのまま実施する事しか出来ません。ただし、仕事の手順については、その職場での過去からの経験による積み重ねで出来ているため、新人の思いつきで勝手に変えて実施するのは好ましくない場合もあります。そのため、

創意工夫を実施する前には、先任者に確認を取ることも必要と思われれます。

また、新入社員や職員は外部から来た人ですので、その職場の人とは違う視点で見ることが出来ます。そのためその職場の人が気づかなかった改善点の提案も可能となります。まずは、仕事を覚えて早く戦力になる事、その過程において疑問点があった場合には先任者にどしどし質問し、積極性を持って仕事に当たって頂きたいと思えます。

今後とも大学と後援会の皆様の益々のご発展をお祈りしています。

進路状況

文部科学省の調査によると、今年の大学新卒者内定状況は、「就職氷河期」より低い過去最悪の状況となった昨年とほぼ同

率となっている。本学の内定状況は二月末現在で、昨年同日比五ポイントプラスの七六%である。

学科別には、管理栄養学科は、管理栄養士職を中心約八十%の内定率となっている。今年、病院・社会福祉施設等の直営給食管理栄養士の内定者が多い。食品学科は、食品企業の研

究・技術・製造職や調理職など幅広い進路となっている。

学生支援センターでは関係教職員の協力のもと、今後も就職未内定者への支援に全力を尽くしていく。

また、現三年次生の就職活動開始は昨年度より二ヶ月遅れたが、今後採用活動が本格化する。就職希望者の健闘を期待する。

4年次生の主な就職進学予定先

【就職】

<管理栄養士・栄養士職>

- (公務員) 東京都栄養士
(病院) (医社)三友会、聖隷佐倉市民病院、千葉大学医学部附属病院(助)同仁会、東京東病院、船橋総合病院、友愛記念病院
(福祉施設) (社福)カリタスの園 聖ヨゼフ寮、(社福)勝曼会 特養あすみの丘、(社福)照陽会 特養みんなと暮らす町、(社福)東京愛育苑 向島学園、白十商事(有)、(社福)初穂会 特養稲毛こひつじ園、(社福)福陽会、ワタミの介護(株)
(保育園) あゆみ保育園、ケアーズ保育園、つぼみ保育園、(社福)東京児童協会、(株)日本保育サービス、(社福)ベタニヤホーム、(社福)わかみや福祉会
(給食会社) アイビス(株)、栄養食(株)、エームサービス(株)、(株)エム・ティー・フード、(株)グランディック、西洋フード・コンパスグループ(株)、(株)セブン&アイ・フードシステムズ、(株)ニッコトラスト、日清医療食品(株)、日本医療サービス(株)、(株)日本栄養給食協会、日本給食サービス(株)、(株)藤給食センター、富士産業(株)、ベストフードサービス(株)、(株)メフォス、(株)LEOC、(株)レバスト
(薬局・その他) (株)カワチ薬品、(株)クリエイトエス・ディー、(株)ファンデリー、(株)美高商事

<一般企業>

- (株)あじかん、(株)アルファ・ウェーブ、(株)インターアリスト、(株)王将フードサービス、柏崎農業協同組合、カセイ食品(株)、カネ美食品(株)、きらら歯科医院、(株)くらコーポレーション、(株)グルメン、黒須建設(株)、(株)玄米酵素、(株)寿食品工業、正栄食品工業(株)、(株)大庄、(株)ダイヤモンド・ドリーム・ダイニング、(株)東急グルメフロント、(株)東京一番フーズ、(株)トーエイビジコム、トオカツフーズ(株)、(株)人形町今半、(株)ファーストフーズ、(株)ベンチャーバンク、(株)ホンダカーズ千葉、明治屋産業(株)、わらべや日洋(株)

<学校>

東京聖栄大学(助手)

【進学】

人間総合科学大学大学院

平成24年度 学年暦

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates from April 1st to March 31st with events like '入学式', '前期授業開始', '卒業式'.

平成二十四年度

後援会総会開催について

平成二十四年四月一日(日) 午前十一時頃 (入学式に引き続き)

二 場所

わたなべ記念館(講堂)

一 時間 一時間程のお時間です。ご出席戴きますようお願い致します。



就職活動体験講話